# 要　望　書




令和８年９月３日

静岡地域労働者福祉協議会

# 2026年度 行政要望

2026 年 9月 3日

静岡地域労働者福祉協議会

## 2026 年静岡地域労福協 要望事項

| No. | 分野 | 要望事項 |
|---|---|---|
| 1-1 | 【健康・福祉】 | 労働者福祉活動を支える助成制度の維持・継続 |
| 1-2 | 【健康・福祉】 | 食料支援体制の更なる充実 |
| 1-3 | 【健康・福祉】 | 高齢者が地域活動へ参加しやすい環境づくりの推進 |
| 2-1 | 【子ども・教育】 | 不登校支援に関わる地域ネットワークの充実と連携強化 |
| 2-2 | 【子ども・教育】 | 若年層の犯罪加担防止のためのインターネット・SNS の適正利用の推進 |
| 3-1 | 【生活・環境】 | 自転車が安全に利用できる交通環境の整備 |
| 3-2 | 【生活・環境】 | 空き家の利活用を通じた勤労者向け住宅取得支援の推進 |
| 4-1 | 【観光・交流】 | 久能エリアの地域資源を活かした交流拠点整備の推進 |
| 4-2 | 【観光・交流】 | 静岡駅周辺及び清水駅周辺の更なる活性化の推進 |

### 1.【健康・福祉】

要望事項： （1） 労働者福祉活動を支える助成制度の維持・継続

趣　　旨：　静岡市におかれましては、市民活動団体や地域団体との協働を通じて、地域課題の解決に向けた様々な取組を推進されています。一方で、近年は財政状況等を踏まえ、各種補助金・助成金の見直しが進められており、地域福祉活動への支援を取り巻く環境も変化しています。

当会は、働く人とその家族が安心して暮らせる地域社会の実現に向け、フードバンク活動への支援や福祉教育の推進など、様々な地域課題の解決に取り組んでいます。これらの活動は行政だけでは対応が難しい分野を補完するものであり、地域福祉の向上にも寄与しているものと考えています。

今後も当会が働く人とその家族を取り巻く地域課題の解決に取り組み、その役割を果たしていくため、活動基盤となる助成制度の維持・継続についてご配慮いただきますよう要望いたします。

# 2026年度　行政要望

要望事項：　（2）　食料支援体制の更なる充実

趣　　旨：　物価高騰等の影響が続く中、生活に困難を抱える方々への支援の重要性は高まっています。当会においてもフードバンク活動への支援を行っていますが、支援ニーズは依然として高く、フードバンク活動は地域における重要なセーフティネットの一つとなっています。一方で、近年は寄贈される食品が減少傾向にあり、活動の継続に不安を感じる場面も増えています。そのため、今後も安定した食料支援を継続していくためには、市や関係団体との更なる連携強化が重要であると考えます。

また、フードバンク活動では、寄贈できる食品の条件等から支援できる内容に一定の制約があり、多様な食料支援ニーズを完全にカバーすることは容易ではありません。そのため、食料支援を更に充実させるためには、多様な手法を取り入れていくことも重要であると考えます。その一つとして、他自治体では、飲食店や小売店等で廃棄予定となる食品を必要とする方々へつなぐ取組が進められており、こうした取組は食品ロスの削減だけでなく、食料支援の幅を広げることにもつながるものと考えます。

食料支援の更なる充実に向け、市とフードバンク、福祉関係団体、食品関連事業者等との連携を強化するとともに、余剰食品を有効活用し、支援を必要とする方々へ円滑につなぐ仕組みづくりを要望いたします。

要望事項：　（3）　高齢者が地域活動へ参加しやすい環境づくりの推進

趣　　旨：　高齢化が進展する中、高齢者の孤独・孤立が社会的な課題となっています。退職や家族構成の変化等により地域とのつながりが希薄になることで、心身の健康や生活の質への影響も懸念されています。

静岡市におかれましては、高齢者の居場所づくりや地域活動への参加促進など、様々な取組を進められていますが、高齢者が地域とのつながりを持ちながら活躍できる環境づくりは今後ますます重要になるものと考えます。また、高齢者が家族や勤労者の支援に過度に依存することなく、自ら地域とのつながりを持ち続けられるよう、移動手段の確保や情報提供の充実、参加しやすい活動環境の整備などを進めることは、地域活動への参加機会の拡大だけでなく、家族や勤労者の負担軽減にもつながるものと考えます。

高齢者が安心して継続的に地域活動へ参加できる環境の更なる充実を要望いたします。

# 2026年度　行政要望

## 2.【子ども・教育】

要望事項：　（1）　不登校支援に関わる地域ネットワークの充実と連携強化

趣　　旨：　不登校児童生徒数は全国的に増加傾向にあり、静岡市においても様々な支援策が講じられています。しかしながら、不登校児童生徒やその保護者の中には、どこに相談すればよいのか分からない、利用できる支援を知らないといった状況も少なくないものと考えます。

また、不登校支援にはNPO法人やフリースクール、ボランティア団体など、多様な主体が関わっていますが、それぞれが独自に活動している場合も多く、支援団体同士のつながりや情報共有の機会は十分とは言えない可能性があります。支援活動を担う方々の負担も大きく、継続的な活動を支える環境づくりが求められています。

不登校児童生徒や保護者が必要な支援につながれるよう、支援活動の見える化や情報発信の充実を図るとともに、支援団体相互のネットワーク強化や連携促進を要望いたします。

要望事項：　（2）　若年層の犯罪加担防止のためのインターネット・SNSの適正利用の推進

趣　　旨：　近年、匿名・流動型犯罪グループ（以下「トクリュウ」という）による犯罪が全国的に大きな社会問題となっています。SNSやインターネットを通じた闇バイト募集などにより、若年層を中心に犯罪へ巻き込まれる事例も発生しており、深刻な状況となっています。

当会員においても、特殊詐欺等の被害やトクリュウによる犯罪につながる闇バイトへの加担未遂事例が確認されており、会員の安全・安心を守るためにも、本課題を重要な課題の一つとして認識しています。

こうした犯罪は、特殊詐欺や強盗等の被害を生み出すだけでなく、軽い気持ちで応募した若者が犯罪の加害者となってしまう危険性をはらんでいます。犯罪組織の撲滅に向けた取組は重要ですが、犯罪への加担を未然に防ぐための教育や啓発も同様に重要であると考えます。

若年層が闇バイト等の犯罪実行者募集情報をきっかけとして犯罪に加担することを防ぐため、インターネットやSNSの適切な利用、個人情報の適切な取扱いに関する教育・啓発の充実を図るとともに、警察、学校等と連携した周知啓発の強化を要望します。

# 2026年度 行政要望

## 3.【生活・環境】

要望事項：　(1)　自転車が安全に利用できる交通環境の整備

趣　　旨：　令和８年４月に施行された改正道路交通法により、自転車にも青切符制度が導入されました。これにより、自転車利用者に求められる責任はこれまで以上に高まるとともに、本来のルールである自転車の車道走行の徹底がより一層進むことで、歩道では子どもや高齢者が安心して歩行できる空間が確保されます。

一方で、自転車専用レーンなどの走行空間整備は十分とは言えず、現在の道路環境では自転車利用者の安全確保に不安が残る状況にあります。法整備が進む一方で、インフラ整備や利用者への周知・啓発が十分に追いついていないものと考えます。

静岡市におかれましては、自転車走行空間の整備や通学路安全対策などに取り組まれておりますが、自転車利用環境の変化に対応するため、安全な走行空間の整備と交通安全意識の向上を一体的に進めることが重要です。

自転車利用者が安全に通行できる交通環境の実現に向け、自転車走行空間の整備を進めるとともに、交通ルールや安全意識の向上に向けた教育・啓発の充実を要望いたします。

要望事項：　(2)　空き家の利活用を通じた勤労者向け住宅取得支援の推進

趣　　旨：　人口減少や高齢化の進展に伴い、全国的に空き家の増加が課題となっており、静岡市においても空き家対策や利活用の取組が進められています。

また、近年は住宅価格の高騰や金利上昇などにより、勤労者世帯にとって住宅取得の負担が大きくなっています。今後も住宅取得を取り巻く環境の厳しさが増すことが想定される中、空き家を活用した住宅が住宅取得を希望する勤労者に広く認知され、住宅購入時の有力な選択肢の一つとして検討されることにより、空き家の利活用促進だけでなく、勤労者世帯の住宅取得支援にもつながるものと考えます。

空き家の利活用を促進するとともに、住宅取得を希望する勤労者へ空き家情報や既存の支援制度がより届きやすく、必要な情報を円滑に得られる環境づくりを要望いたします。

## 4.【観光・交流】

要望事項：　（1）　久能エリアの地域資源を活かした交流拠点整備の推進

趣　　旨：　久能エリアには、久能山東照宮や石垣いちご、しらす、葉しょうが、駿河湾を望む景観など、多くの魅力的な地域資源が集積しています。また、国道150号沿線は市内外から多くの人が訪れるエリアでもあり、更なる魅力向上の可能性を有しています。

静岡市におかれましても、観光振興や交流人口の拡大に向けた取組を進められておりますが、久能エリアの地域資源を結び付け、周遊や滞在につなげるための取組には更なる発展の余地があると考えます。また、交流拠点は観光振興に加え、地域住民にとっても親しまれ、地域のにぎわいやコミュニティの形成に寄与する重要な役割を担うものと考えます。

久能エリアが有する豊かな地域資源を活かし、道の駅に代表される交流拠点の整備や周遊促進施策を推進することで、交流人口の拡大と地域活性化を図るとともに、来訪者だけでなく地域住民にとっても親しまれる交流拠点づくりを要望いたします。

要望事項：　（2）　静岡駅周辺及び清水駅周辺の更なる活性化の推進

趣　　旨：　静岡駅周辺及び清水駅周辺は、地域経済や交流の中心的な役割を担う重要な拠点です。

静岡市におかれましては、両エリアのまちづくりに積極的に取り組まれており、にぎわい創出に向けた様々な事業が進められています。これらの取組は、地域の魅力向上や交流人口の拡大、地域経済の活性化につながるだけでなく、市民が誇りを持ち、若い世代をはじめとする多くの人が住み続けたい、訪れたいと思える魅力あるまちの形成にもつながる重要な施策であり、市民としても大きな期待を寄せています。

今後も両エリアが、市民にとっても来訪者にとっても魅力あふれる交流拠点として更なる発展を遂げ、将来にわたり選ばれるまちとなるよう、まちなか再生の取組を着実に推進し、魅力あるまちづくりを更に進めていただくことを要望いたします。

以上